

甲賀の特産品

甲賀メロン

甲賀市内には伝統的な野菜から新規作物まで、キラリと輝く特産品が数多くあります。今回はその中から、「甲賀メロン」をご紹介します。

「甲賀メロン」は平成16年から栽培を始められ、現在は4戸の農家が約1,000㎡のパイプハウスで栽培されています。

栽培されているメロンは最も高級なアールスメロンで、網目が美しく、とても甘いのが特徴です。

栽培方法は県農業技術振興センターで開発された「少量土壌培地耕」という、従来のように土を耕すのではなく、地面と隔離した「柵」に少量の土を詰め、肥料の入った水をチューブで流す、新しい水耕栽培の方法です。

現在、春作と秋作の年2回作付けされており、JAGグリーン花野果市（はなやかいち）などで7月上旬と、この11月上旬にも販売されます。

7月に販売されたメロンを買われた消費者からは、とても甘い風味が良い、と好評で、今後ますますの発展が期待されます。

【問い合わせ】

農業振興課

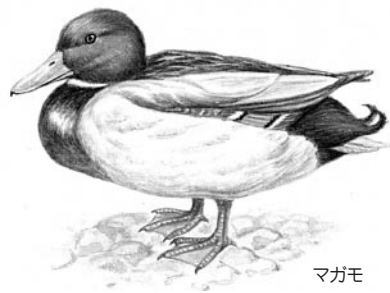
☎ 65-0712
FAX 63-4592

みなくち子どもの森 11月の自然 北国からのわたり鳥



ジョウビタキ

「ジョウビタキ」は、民家の近くにやってくる、屋根や杭の上など目立つところに止まり、尾を振って、「ヒッ、ヒッ、ヒッ」と高い声で鳴きます。お腹のオレンジ色が美しい鳥です。



マガモ

「マガモ」は、大きな池沼や川の流れが緩やかな場所に群れでやってきます。オスの頭が鮮やかな緑色です。



ツグミ

寒い冬が近づくと11月。シベリアなど北国から、冬鳥たちがわたって来ます。これらのうち、甲賀市でよく見られる3種を紹介します。

「ツグミ」は、畑や公園の芝生など開けた場所で地面をつつき、餌を採ります。背側に赤茶の模様があつて、驚くと「ケー、ケ」と鳴いて飛び立ちます。

冬は、野鳥観察を始めるのに最適です。木の葉が落ちて野鳥を見つけやすく、身近な庭や公園にも、餌をさがす多くの野鳥が訪れるからです。観察には、8〜10倍の双眼鏡があると、より楽しめます。暖かい格好をして出かけましょう。

みなくち子どもの森自然館では、冬鳥の展示をするほか、野鳥観察の相談も受け付けています。

みなくち子どもの森自然館
☎ 63-6712 FAX 63-0466

11月の休園日
4(金)、7(月)、14(月)、21(月)、24(木)、28(月)